



# 週報Rotary



所沢西ロータリークラブ

R1 第2570地区第3グループ

会長 堀江 大  
 幹事 石井 秀夫  
 クラブ管理運営委員長  
 副会長 山田 富男  
 会長エレクト 鈴木 伴忠  
 室伏 秀樹

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ グラン TEL 04-2923-4122  
 事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666  
 例会日 毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX 04-2926-5151  
 E-mail nishiro@dream.ocn.ne.jp http://www.tokorozawa-nishiro.net/

**四つのテスト** 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

**第 1496 回例会 2017・10・31**

ニコニコ 本日 42,000 円 累計 336,932 円

卓 話	例会当番	記念祝福
10/31 例会振替 10/28~29 親睦旅行 信州安積野 11/7 終活セミナー ~あなた だけのエンディングノートを作りま しょう~ 長嶺 美代子様	須澤 一男	

■出席報告	
月 日	10/24
会員数	30
出席者	27
出席率	90%
前回修正	-

**会長の時間 堀江 大**



日本の空は日本の空ではない。東京の西部、世田谷区・中野区、杉並区、練馬区、武蔵野市の上空には民間飛行機は飛んでません。

羽田空港に着陸する時に急激に左旋回しているなど思われた方いませんか？

又、ニュースなどで今後、羽田に着陸するのに渋谷・新宿の上空300メートルを飛行機が飛ぶので騒音や落下物の報道を聞いたことがあると思います。

全て、横田空域という制限が掛かった所は飛ばず、不自然なルートを飛んでいます。

戦後70数年経ちますが日本の空は全て優先権は米軍にあります。

日本の空は日米地位協定で米軍が管理しております。

日本の空はアメリカのもの

**幹事報告 石井 秀夫**

- ✿ 2016-2017年度 地区大会 報告書
- ✿ [RIJO-FAQ]新システムからのテスト二回目
- ✿ 第二十一回・所沢フレンドリーカップ サッカー大会協賛のご依頼について
- ✿ 例会変更・・・入間南 RC、所沢 RC

**ニコニコボックス 中村 茂**

本日の講師 野村 邦武様

大金の講師料 全額 寄付して下さいました。

堀江 大 野村先生、モノレール計画宜しく願います。

- 石井 秀夫 野村 邦武先生、本日は有り難うございます。卓話どうぞ宜しくお願い致します。
- 本橋 正夫 野村先生 本日は有り難うございます。宜しくお願い致します。22日の選挙大変有り難うございました。無事終わりました。
- 室伏 秀樹 10月19日(木)18時15分から、TBSテレビ「Nスタ」に弊社 飯能支店が放映されました。食材宅配がテーマでした。野村様卓話楽しみにしています。
- 本橋源太郎 野村様 本日は宜しくお願いします。  
PS:前回欠席
- 内田 学 皆様 台風の被害如何でしたか?
- 恒良 裕子 前回欠席致しました。モノレールが開通する日を楽しみにしております。
- 大舘 信夫 前回 前々回 前々々回 欠席。
- 鈴木 伴忠 本日早退します。

卓話 所沢西部地域の2つの事業計画  
野村 邦武様



○ 停滞する所沢市の成長力

埼玉県の経済発展は東高西低で、西部が不振である。その結果2016年からの6年間で、東部のさいたま・川口・戸田3市の人口は71千人増えたが、西部の所沢・狭山・飯能3市の人口は逆に12千人も減った。中でも所沢市は県内で最も減少し6,049人も減った。所沢不振の原因の1つは不便な交通事情であり、その改善のために私もお手伝いさせて頂いている、2つの計画の経緯と現況をお話したい。

1. 多摩都市モノレールの所沢への誘致計画

(1) 多摩都市モノレールの現況

2000年1月に、上北台―多摩センター間の16Kmが開通。1日当たりの乗客は約14万人に増え、経営状況は良好である。東京都が8割出資。延伸計画として、具体化中の「上北台→箱根ヶ崎」の他、「多摩センター→町田市」がある。

(2) 多摩モノレールの所沢誘致の狙い

モノレールを上北台駅から小手指駅まで延ばせば、東京都西部の立川・八王子・多摩等の諸都市との交通が便利になり、入間・飯能・狭山市等の県西南部地域と多摩地域との結節点となる所沢市の経済活性化に大いに役立つ。

(3) モノレールの誘致工作の開始

2001年夏に、本橋・片居木氏他が、多摩モノレールを所沢方面に誘致することを企画し、日本モノレール協会に検討を依頼した。

2002年3月に同協会より、上北台駅→小手指駅の約7Kmに、5駅を設置すれば、工費は467億円。1日当たり乗客数を12,700人と見込めば、想定運賃は区間600円。単線にすれば工費はかなり下げうる、との報告を受けた。

そこで、2002年4月に本橋正夫氏他が発起人となり、地域の町内会長・自治会長・市議員等に呼びかけて「環境に優しいモノレールを所沢市に誘致する会」を設立し、山口・小手指・三ヶ島地区を中心に50,623人の住民と市議員18名の署名を集め、2003年1月に、齋藤所沢市長に誘致計画の早期実行を求め「要望書」を提出した。しかし要望書に対し、歴代市長から明確な回答がないまま、15年が過ぎた。

2014年9月に藤本市長に改めて誘致計画を具申し、本年2月に本橋・片居木氏他が、会の体制を一新し、誘致工作を再開することを決定した。

(4) 「モノレールの所沢方面誘致推進協議会」の新設と誘致工作

本年7月30日に誘致する会の臨時総会を開き、

- ①本橋会長他新役員を選出すると共に、
- ②「誘致する会」が発起人となり「モノレールの所沢方面誘致推進協議会」を新たに設立し、

所沢市の関係諸団体に参加を求めること、

- ③ 新設するこの協議会から、所沢市長に改めて「要請書」を提出すること、を議決した。



その後、所沢市自治連合会・所沢商工会議所・所沢商店連合会・所沢市経済活性化協議会・所沢青年会議所等の諸団体、所沢市市会議員・所沢地区選出県会議員・国会議員から、「誘致推進協議会」に参加の応諾を取り付け、本年8月31日に、誘致推進協議会の代表幹事8名及び柴山衆議院議員他が、藤本所沢市長に要請書を提出した。

### (5) 所沢市長への要請事項

「要請書」での要請事項は次のとおり。

- ① 所沢市も推進協議会に参加し、事務局を市役所内に設置して主導的役割を果たすこと。
  - ② 事業化可能性調査と沿道区画整理事業の立案に早期に着手すること。
  - ③ 埼玉県・東京都・関係諸都市・関係諸機関等に多摩都市モノレールの所沢への誘致の意向を表明して、鋭意協議をすすめること。
- 今後の市長の積極的な対応に大いに期待したい。

## 2. 西所沢駅の橋上駅舎化計画

### (1) 西所沢駅の現状

西所沢駅の改札口は東側にしかないため、駅の利用客の半数強の、平日約12千人の乗降客は、遮断時間が長い踏切を通る他なく、極めて不便で危険な状況が続いている。

また、西所沢駅周辺地域住民は線路で遮断され、東西交流の利便性が著しく損なわれている。

### (2) 西口改札口開設期成会の発足

平成17年6月に、地域有志が駅西側の町内会・自治会に働きかけて13,468名の署名を集め、西口開設の陳情書を齋藤所沢市長に提出した。

追って同年7月、陳情に参加した町内会・自治会が「西所沢駅西口改札口開設期成会」を結成し、以来粘り強く市と折衝を続けたが、西口開設計画はその後6年間、全く進まなかった。

### (3) 市側の対応

期成会の催促に押されて、平成23年6月に、市は「西所沢駅西口開設検討協議会」を発足させ、予算693万円で調査検討に着手。

平成24年2月に、協議会から藤本所沢市長に「自由通路と駅舎の橋上化実現」の提言が出た。

しかし、市の対応は遅れ、平成27年春に漸く「西所沢駅西口開設整備計画」が提示され、先ず西改札口のみ開設し、駅近くに送迎車用回転広場を整備のうえ、これと県道を繋ぐ道路を拡幅する、という案が提示された。

市側はその後、用地の購入等を進め、平成28・29年度に、合計330百万円の予算を計上した。

### (4) 西武鉄道との折衝

本年6月に、市は西武鉄道と協議開始の文書を取り交わし、西口開設費用の分担等を協議中。

西武鉄道からは、二度手間を省き最初から橋上駅舎化ではどうかとされている様子である。

協議会提言のとおり「自由通路と橋上駅舎化」が本筋で、期成会は藤本市長の決断と早期実行に大いに期待している。

今週の担当 大館 信夫

